

# ナショナルサイクルルート 「ビワイチ」を活用したまちづくり(大津市)

大津市環境政策課 | 杉本 和奏 株式会社きゅうべえ | 谷口 創太

## 背景

「ビワイチ」(琵琶湖一周サイクリング)が第一次ナショナルサイクルルートに指定され、「ビワイチ推進条例」が制定・施行された背景から、滋賀県下の各市町村ではビワイチの取り組みを加速させています。大津市はビワイチの発着点になっており、官民連携で自転車を活用したまちづくりを進めています。令和4年4月に大津港サイクルステーション(ゲートウェイ施設)を開設、令和6年6月からシェアサイクル導入実証事業を実施。



## 大津港サイクルステーション

主管 | 大津市観光振興課 指定管理事業者 | 株式会社きゅうべえ



令和4年4月に大津港旅客ターミナル内にゲートウェイ施設として大津港サイクルステーションを開設。

レンタサイクルとして、約300台のスポーツバイクを保有しております。

ビワイチの出発地点としての役割にとどまらず、市民、観光旅行者の利便性の向上や自転車を活用した観光周遊の促進を目的としています。



▲サイクルシッパツアー



▲インバウンド観光客向けツアーパンフレット



▲ビワイチ商品

サイクルシッパ、途中返却、ビワイチ商品開発、ライドイベント、子供向け自転車教室、試乗会、旅行会社との連携等の施策を実施。国内外から積極的に利用者を誘致。

## シェアサイクル導入実証事業

主管 | 大津市環境政策課 協働事業者 | 株式会社きゅうべえ



令和6年6月からは、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて「エコ移動」の普及を図ることを目的に、シェアサイクル導入実証事業を実施しております。

電動アシスト自転車によるシェアサイクル事業を50ポート(令和7年9月末時点)で展開しております。

環境負荷軽減だけでなく、観光客の利便性向上等、副次的な効果も見込んでおります。



▲観光大使を活用したプロモーション

大津港サイクルステーション(ゲートウェイ施設)との連携、観光大使を活用したプロモーション、地元金融機関と連携した周遊マップの作成、鉄道との連携等、地域と連携した運営。